

随泉寺寺報

平成20年(2008年)4月号 第452号

082-892-0217 <http://www.zuisenji.com/>

浄土真宗本願寺派 高峯山随泉寺

春季永代経法要

講師 真教寺住職 法山知巳師

講題 『お念仏のまなざし』

『あさましの じゃけんのつのが はえたまんまで』 浅原才市

【浅原才市(あさはら さいち, 1850年〔嘉永3年〕2月20日 - 1932年〔昭和7年〕1月17日)は、石見国大浜村字小浜(島根県大田市温泉津町大字小浜)生まれの下駄職人である。浄土真宗の代表的な妙好人の一人である。】

私たちは、楽しみ、苦しみもあるが、この世が最上である、そういいながら、たたりや罰を恐れ、日や方角、占いにとらわれ自分の考えを中心として生きています。そんな私がすでに如来さまの大悲に包まれているのです。

また、私たちは、いつも自分の物差しで物事を見ています。正しいのはこの私で、自分の意見と違うものは、悪で、自分の考えと同じものは、善なのです。私にとって都合の悪いものは、排除し、都合のいいものだけを大事にする。そのものの見方が偏っているのです、邪見というのです。それにあわないものを排除し角を生やすのです。

4月の法座予定

- 4月13日.....掃除 上平原第2
- 4月14日昼席午後1時より.....春季永代経法要
- 4月14日夜席午後7時より.....出張法座 上平原集会所
- 4月15日朝席午前10時より.....仏教婦人会総会 おとき
- 4月15日昼席午後1時より.....春季永代経法要
- 4月15日昼席後より.....引き続き門信徒会役員会
- 5月2日午後6時より.....門信徒会本部役員会



はなまつり

四月八日はお釈迦さまの誕生日です。

お釈迦さまは、今からおよそ二千五百年程前、現在の、ネパール領、ルンビニ - でお生まれになりました。

さて、お釈迦様の誕生にちなんだ逸話として『天上天下唯我独尊』という言葉があります。

『天にも地にも、私という人間はたった一人しかいない尊い存在である』だからこの世にある命のすべてが等しく、尊い存在なのです。

地球は今、温暖化や格差の増大、憎しみや報復の連鎖としての戦争が拡大して、子供たちの未来に暗い影を落としています。その原因は私たち人間です。

でも今、私達が生きているこの時代に、過ちが繰り返される事をやめる事で自分や子供達に悪い影響が降りかかる事を防ぐ事は出来る、と。それが仏さまの智慧なのです。

法前進座特別公演 「法然と親鸞」

親鸞聖人750回大遠忌を記念し、劇団前進座特別公演「法然と親鸞」が上演されます。

中村梅之助氏[法然役]、嵐圭史氏[親鸞役]をはじめ素晴らしい俳優の方々が、「お念仏のみ教え」という絆で結ばれた人々の、心あたたまる感動のエピソードを熱演してくださいますので、是非、ご鑑賞ください。随泉寺にチケットが12枚あります。残りが後6枚です。希望される方は申し出てください。

日時 6月26日(木)午後2時開演 場所 ALSOK ホール

6,000円です。

4月18日~5月25日、広島県立美術館で「本願寺展」

国宝「三十六人家集」など150点展示

入場券ご希望の方は随泉寺に申し込んでください。950円です。

仏教婦人会総会 4月15日(火)午前10時~

仏教婦人会の総会を行います。今年一年の行事予定や予算を審議してもらいます。何かご意見のある方は、ぜひとも総会に出席をして、考えを伝えてください。

御礼

永代経懇志 金 拾萬円 米広 タマ子殿 故 米広 富士男様 特別永代経志として

御礼

門信徒会へ 金 一封 米広 タマ子殿 故 米広 富士男様 香典返しとして



思いやりの心を

育てよう

私が六年生を担当していたとき、輝雄君という子どもが、次のような詩を書きました。

かつお

けさ、学校に来がけに ちょっとしたことから 母と言ひあいをした。

ぼくは、どうにでもなれと、母をボロクソに 言い負かしてやった。

母が困っていた。

そしたら、学校で、昼になって、母の入れてくれた弁当の ふたをあけたら、

ぼくの好きなかつおぶしが パラパラとふってあった。

おいしそうに匂っていた。

それを見たら、ぼくは、けさのことが思い出されて 後悔した。

母は、いまごろ さみしい心で 昼ごはん食べているだろうかと思うと

すまない心が、ぐいぐいこみあげてきた。

という詩です。今の子どもがお母さんを言い負かすくらい朝飯前のことです。輝雄君も、お母さんをやっつけて、得意になって登校したのでしょう。ところが、昼になって、お母さんが入れてくれた弁当の蓋をあけ、お母さんの心にであったのです。わが子に言い負かされて、何も言えなくなってしまったお母さんが、そういうわが子の大好きなかつおぶしを、ふりかけてやらすにおれない、仏さまのような母の心にであったとき、とめようと思ってもとめることのできない

「すまないと思う心」が、込みあげてくるのです。

仏さまのお心を「大悲」といいますが、お母さんをやっつけて得意になるやんちゃ者も、「大悲」にであうと、思いやりの心をもたずにはおれなくなるのです。

『最後だとわかっていたら』

ローラ ホートン

あなたが眠りにつくのを見るのが 最後だとわかっていたら

わたしは もっとちゃんとカバーをかけて

神様にその魂を守ってくださるよう祈ったろう



あなたがドアを出て行くのを見るのが 最後だとわかっていたら

わたしは あなたを抱きしめてキスをして

そしてまたもう一度呼び寄せて 抱きしめただろう



あなたが喜びに満ちた声をあげるのを聞くのが 最後だとわかっていたら

わたしは その一部始終をビデオにとって 毎日繰り返し見ただろう



確かに いつも明日は やってくる 見過ごしたことも取り返せる

やりまちがったことも やり直す機会が いつでも与えられている

「あなたを愛してる」と言うことは いつだってできるし

「何か手伝おうか？」と声をかけることも いつだってできる

でも もしそれがわたしの勘違いで 今日で全てが終わるとしたら

わたしは 今日 どんなにあなたを愛しているか 伝えたい



© 2005 TOSHIBA CORPORATION

そして私達は 忘れないようにしたい

若い人にも 年老いた人にも

明日は誰にも約束されていないのだということを

愛する人を抱きしめるのは 今日が最後になるかもしれないことを

明日が来るのを待っているなら 今日でもいいはず

もし明日が来ないとしたら あなたは今日を後悔するだろうから

微笑みや 抱擁や キスをするための

ほんのちょっとの時間を どうして惜しんだのかと



© 2007 TOSHIBA CORPORATION

忙しさを理由にその人の最後の願いとなってしまったことを

どうして してあげられなかったのかと



だから 今日 あなたの大切な人たちを しっかりと抱きしめよう

そして その人を愛していること いつでも いつまでも大切な存在だと言うことを

そっと伝えよう「ごめんね」や「許してね」や「ありがとう」や

「気にしないで」を伝える時を持とう

そうすれば もし明日が来ないとしても

あなたは今日を後悔しないだろうから



(訳:佐川 睦)

© 2005 TOSHIBA CORPORATION